

回覧

元気なコミュニティだより

二宮町百合が丘 2-29-6(老人憩いの家) 090-5211-6891 <https://gen-comi.jp>

やまゆり 県立音楽堂へ 合唱団

6年1月、町・新春のつどいにも

このみややまゆり合唱団（前野昌利団長）はR6年1月にラディアン、県立音楽堂（横浜市）に相次いで登壇する。1月5日（金）は町の新春のつどいコンサート、17日（水）は神奈川県が主催する



団地コーラス発表会へのゲスト出演。音楽活動部会は地域の内外で発表の機会を増やしていく方針を打ち出しているが、神奈川県を代表する会場への進出は初めて。団メンバーは「思い切り声を上げてくる」と張り切っている。

やまゆりはコロナ騒動以前から町の新春行事に参加してきており、今回は新春のつどい第2部に他の演奏グループとともに出演する。曲目は一月一日、心の瞳、宇宙戦艦ヤマト、逢えてよかったねの4曲。30人以上の

団員が歌う予定。

一方、17日の県立音楽堂のイベントは、県営団地における合唱事業を推進中の神奈川県を通じて打診があった。この10月に、ゲンコミが主催するやまゆり音楽祭に黒岩祐治知事が出席したり、二宮団地の新コミュニティルーム運営への関わりが決まったことなどものつながりの背景にある。県は地域住民対象の音楽活動を通じてコミュニティの活性化や健康団地の推進に力を入れており、ゲンコミの活動方向と多くの接点が出てくる可能性がある。

一千人以上を収容する県立音楽堂は、県内音楽活動にとって象徴的存在。やまゆり合唱団はこうした町外活動への参加が、団活動のパワーアップにもつながると見ている。

「どうする二宮・大磯」シリーズ終了



生涯学習部会（山本正博部会長）の特別企画は、12月初めの蒨健夫・県公社元専務理事の4回目講座で終了した。「人口減少対策」という地域の根幹を揺るがす大きなテーマにどう取り組み、魅力あるエリアをつくりあげていくか——について、村田・二宮、池田・大磯両町長と猪股県政策顧問と蒨氏の町外識者が正面から意見を述べるきわめて重要な機会になった。「村田町長からがこんなにはっきりと自説を聞くのは初めて」という声も出ていた。

かなりの硬派のテーマだったにもかかわらず、各回とも40人前後の参加者があり、実りある質疑が行われた。各講師とも力の入った資料を用意して講座に臨んだ。